

講演会 第89回学習院大学史料館講座 没後20年 辻邦生を語る

講師 PartI 拝戸雅彦 (キュレーター・美術史家/愛知県美術館企画業務課長)
PartII 松浦寿輝 (作家・詩人・批評家/東京大学名誉教授)

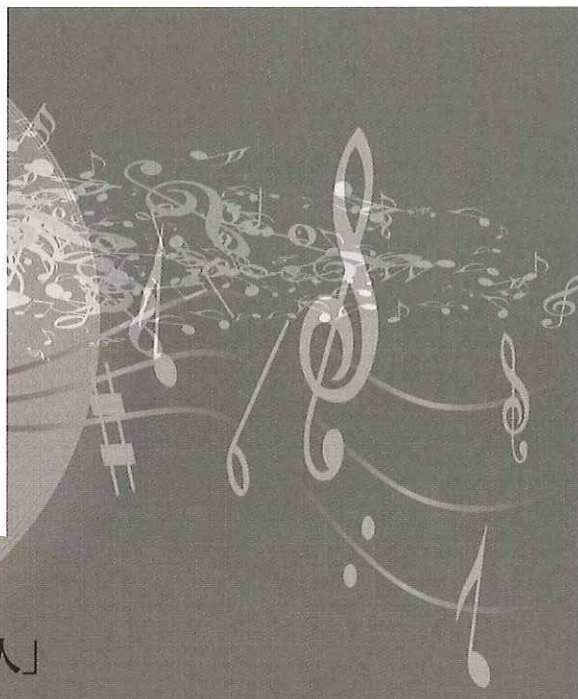
日時 令和1年(2019)6月29日(土) 会場 学習院創立百周年記念会館
PartI 13:30~15:00 (13:00開場) *入場無料・事前申込不要
PartII 15:15~16:45



拝戸 雅彦 Haito Masahiko

1964年名古屋市生まれ。名古屋大学文学部哲学科美学美術史専攻を卒業後、同大学大学院前期課程を修了。専門はイタリア美術と現代美術。1992年10月から2008年3月まで愛知県美術館の学芸員として勤務。愛知県があいちトリエンナーレの事業を立ち上げた2008年から9年間、国際芸術祭(トリエンナーレ)推進室に異動。三回のトリエンナーレにキュレーターの一人として関わった。

「ファウスト・メロッティ」展(1999)、「戸谷成雄一森の駿の行方」展(2001)、「アジアの潜在力」展(2005)(共同キュレーション)、「愉しき家」展(2006)、「サイクルとりサイクル」展(2007)など。ルイジベッチ現代美術館(プラート市、イタリア)での日本現代美術展「先立未来」(2001)での共同キュレーションや、ソウル市立美術館でのアジアの都市単位の美術動向を扱う「city_net_asia」(2006)の名古屋セッションにも関わる。

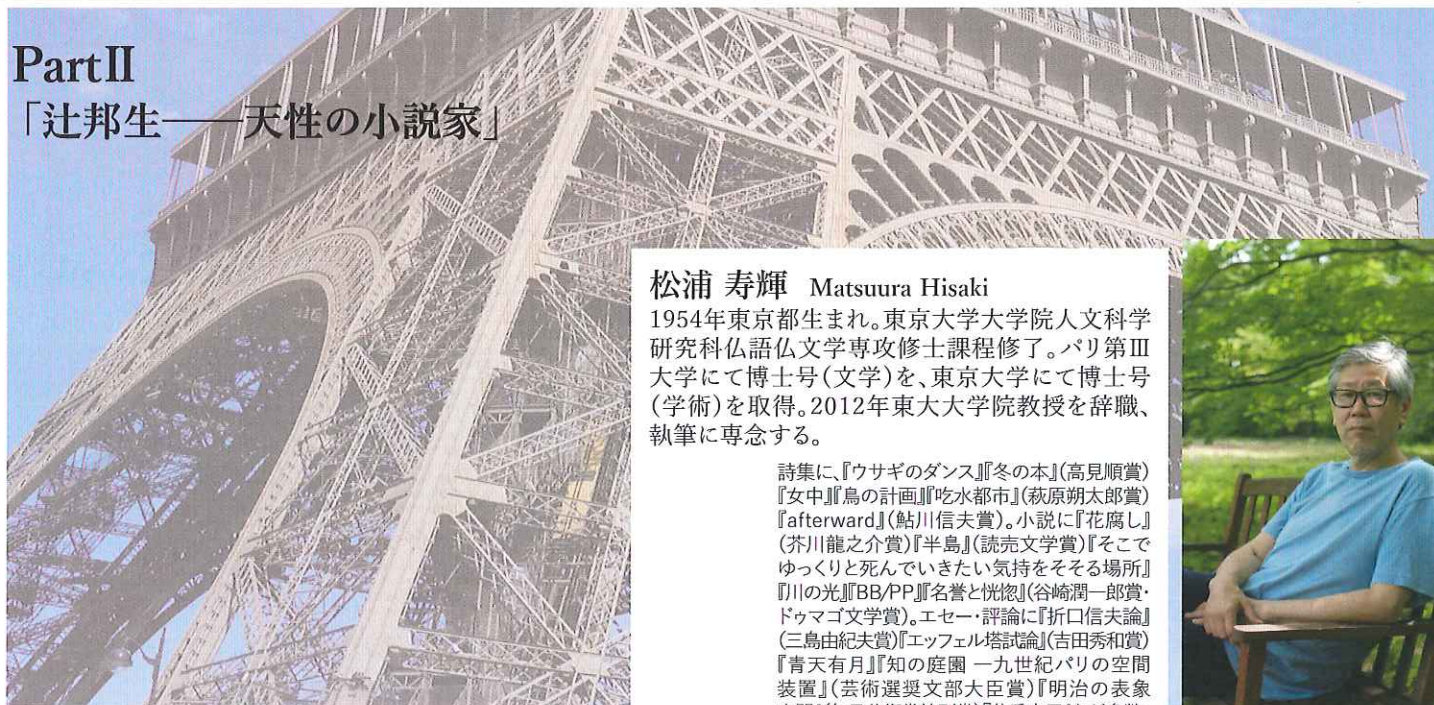


PartI

「二つの磁場から——名前で語る人と語らない人」

PartII

「辻邦生——天性の小説家」



松浦 寿輝 Matsuura Hisaki

1954年東京都生まれ。東京大学大学院人文科学研究科仏語仏文学専攻修士課程修了。パリ第三大学にて博士号(文学)を、東京大学にて博士号(学術)を取得。2012年東大大学院教授を辞職、執筆に専念する。

詩集に、『ウサギのダンス』『冬の本』(高見順賞)、『女中』『鳥の計画』『吃水都市』(萩原朔太郎賞)、『afterward』(鮎川信夫賞)。小説に『花腐し』(芥川龍之介賞)、『半島』(読売文学賞)、『そこでゆっくりと死んでいきたい気持ち』(谷崎潤一郎賞)、『川の光』『BB/PP』(名誉と恍惚) (谷崎潤一郎賞・ドゥマゴ文学賞)。エッセー・評論に『折口信夫論』(三島由紀夫賞)、『エッフェル塔試論』(吉田秀和賞)、『青天有月』『知の庭園 一九世紀パリの空間装置』(芸術選奨文部大臣賞)、『明治の表象空間』(毎日芸術賞特別賞)、『黄昏客思』など多数。



関連イベント

朗読会 声でつむぐ辻文学《廻廊にて》

辻邦生の命日を偲び、現役大学生による朗読会を開催します。『廻廊にて』は、辻の最初の長篇小説。1963年近代文学賞を受賞した作品です。

日時 令和1年(2019)7月28日(日)
第1回 11:00~ 第2回 13:00~ (予定)

会場 学習院大学史料館(東別館)
*各回先着順30名 *入場無料・事前申込不要

関連書籍

没後20年記念出版

小説家で学習院大学フランス文学科教授であった辻邦生の没後20年を記念し、ビジュアル版ソフトカバーが刊行されます。

学習院大学史料館編(中央公論新社より6月刊行予定)

『辻邦生 永遠のアルカディアへ』

